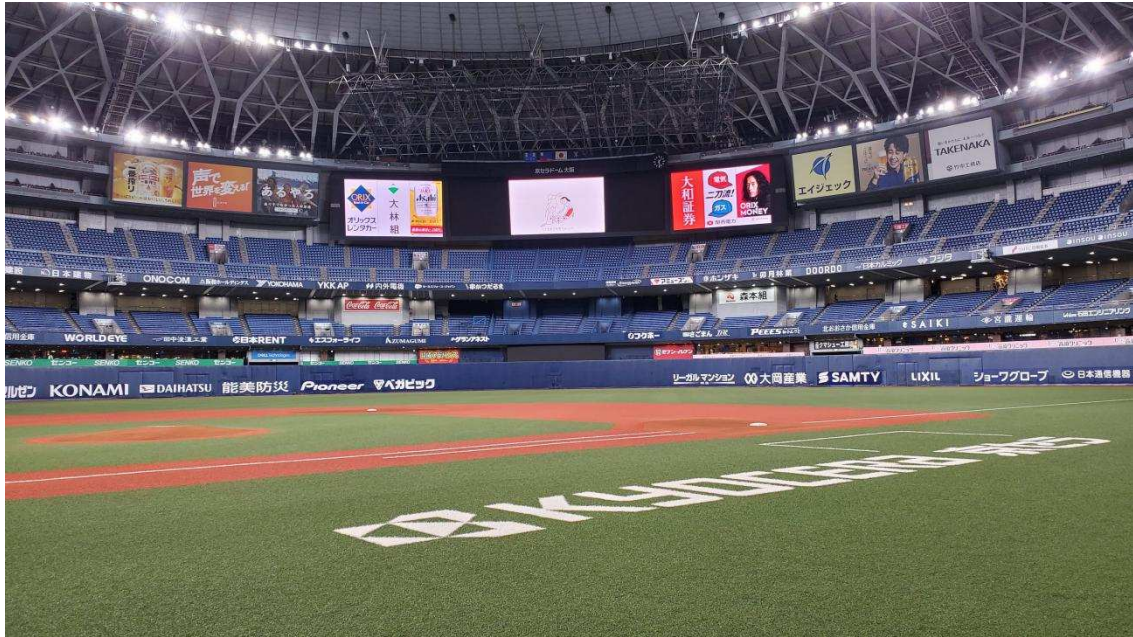


長野市の社会人野球チーム「信越硬式野球クラブ」は今年 NPB の日本シリーズの行われたオリックスバファローズの本拠地、京セラドーム大阪で開催された第 48 回社会人野球日本選手権に北信越地区代表として出場しました。

社会人野球には夏の「都市対抗野球大会」秋の「日本選手権」が二大会となっており、チームはその大会への出場、そして優勝を目指して日々練習をしています。

社会人野球の歴史は長く、NPB へ多くの選手を輩出しております、今年のドラフトでも DeNA の渡会選手（ENEOS）オリックス指名された長野県出身の権田投手（TDK）などは社会人野球チームの所属で、全部で 14 名の選手が指名されています。



【一回戦 日本新薬（京都市）2023 年 11 月 10 日 14：00～】

信越クラブ 002 101 010 5

日本新薬 020 000 000 2







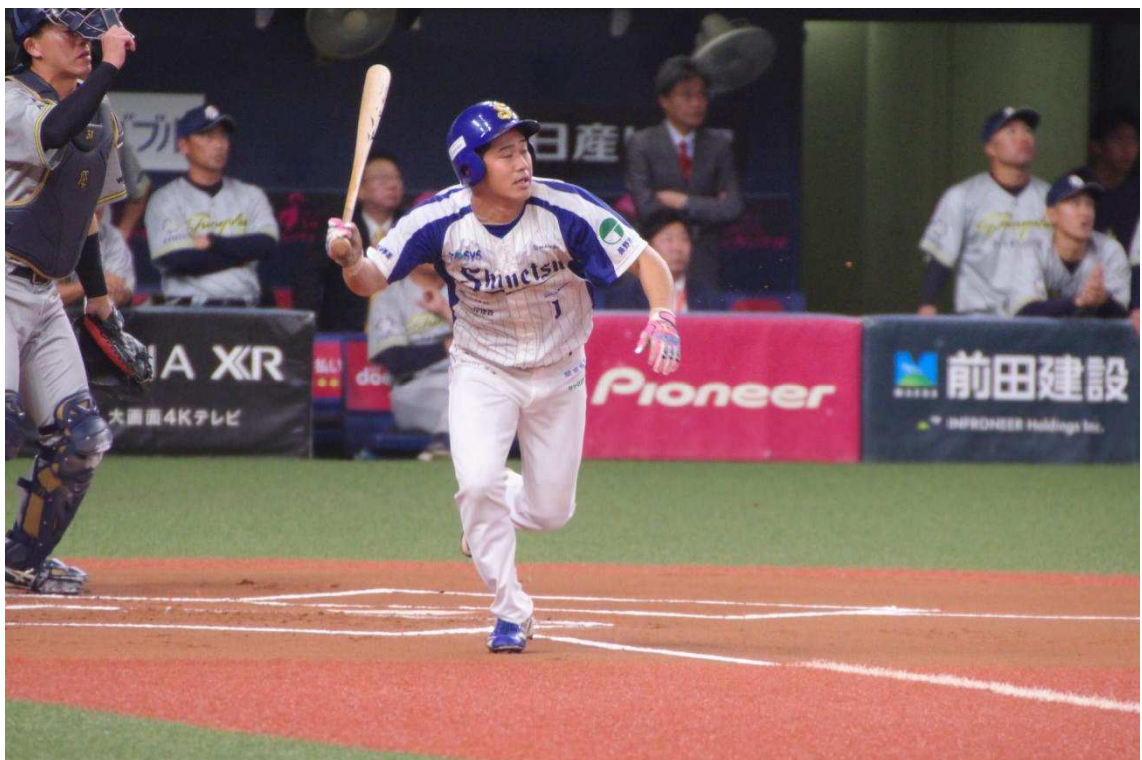
信越クラブは宮野（TOSYS）日本新薬はエースの岩本の先発投手で始まりました。



両投手とも初回は三者凡退で押さえて静かな滑り出しとなりましたが、日本新薬は次の2回裏ノーアウトから連続ヒットで満塁とすると犠牲フライで先制し、なおもツーアウト二、三塁とすると、センター前ヒットで追加点となりますが、センター川崎（山本食品）の好返球で二塁ランナーの得点は許しませんでした。



2点を追う信越クラブは、ワンアウトから原（新日本警備）の酒井仁汰（山口建築）の二塁打で二、三塁とすると成澤（直富商事）の2点タイムリーで同点にします。



すると、4回表には百目鬼（テルウェル東日本）のレフトオーバーホームランで勝ち越します。



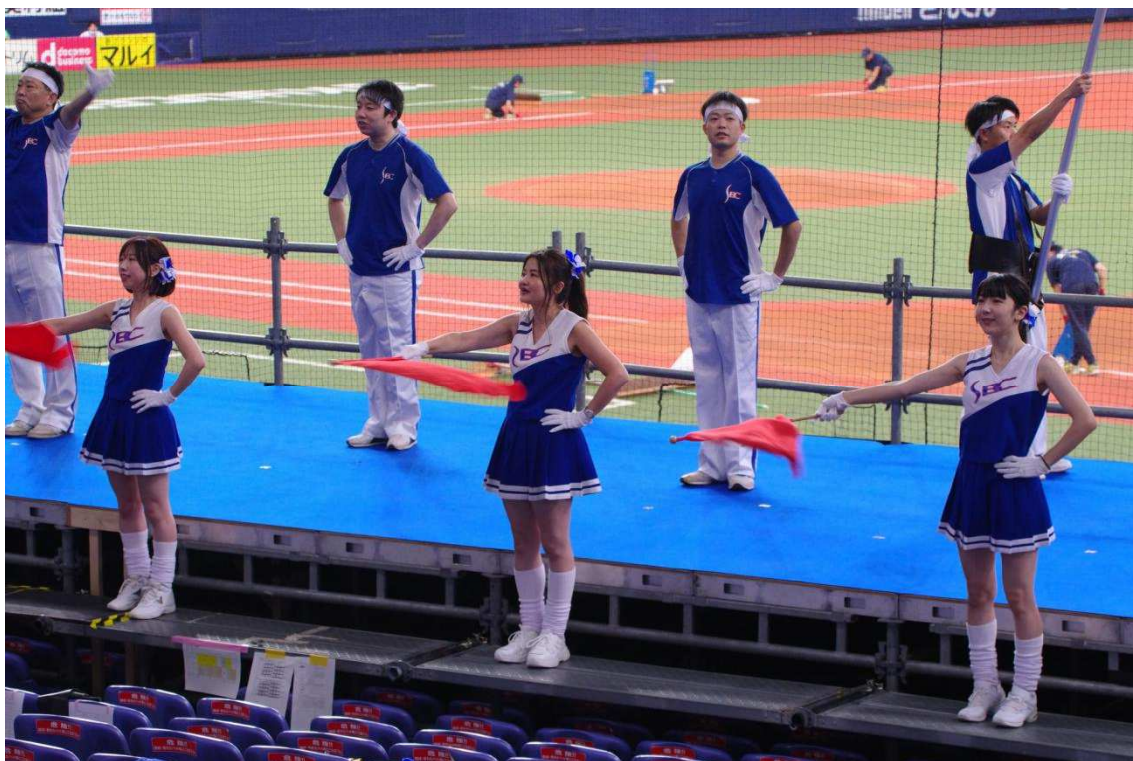


先発の宮野は5回を2点に押さえて酒井大輝（マナテック）にあとを託します。6回表は中道（TOSYS）のセンター前タイムリーで追加点、8回表には山田（山口建築）のライトオーバーホームランで更に1点を加えました。



守っては、酒井が日本新薬を3安打0点に押さえて2009年以来の勝利となりました。





【二回線 西濃運輸（大垣市）2023 年 11 月 14 日 14：00～】

信越クラブ 000 000 000 0

西濃運輸 000 050 000 5

信越クラブは初戦と同様宮野が先発、西濃運輸は庄司の先発で始まりました。序盤は両チームとも決め手に欠き 4 回まで 0-0 で進みましたが、5 回表フォアボールと成澤のツーベースでツーアウト二、三塁のチャンスを作ります、「チャンス信越」の応援が鳴り響く中打席には川寄が入ります。川寄は 1 ボール 2 ストライクからの 4 球目を叩きその打球はレフトを襲いますが、もうひと伸びがなくレフトフライで、無得点に終わります。

するとその裏、疲れが見える宮野がワンアウトからフォアボール二つを出し降板し酒井大輝がマウンドに上がりますが、不運な打球にエラーも重なり先制点を与えてしまいます。その後もヒットなどで得点を与えてしまいます。

5点を追う信越クラブは、山田、下川原（NTT インフラネット）のヒットなどで反撃しますがあと一本が出ず得点できません。

信越クラブは荻原（マナテック）が6回7回を無得点に押さえ、8回は佐渡（NTT テレコム）も0点に押さえ、反撃に期待します。9回表はツーアウトから代打の福島（テルウェル 東日本）がヒットで出塁しますが、最後はファーストライナーでゲームセットとなりました。1992年以来のベスト8とはなりませんでしたが、チーム一丸となって戦ったことは来年につながるものになりました。